



# 年に一度の「ありがとう」

昔から行われている「迎え盆・送盆」。迎え火を焚いてご先祖様を

# 夜空を見上げて

いました。「乞巧羹」が奈良時代日本に伝わると、宮中行事として取り入れられるようになり、詩歌や裁縫の上達を願つて星に祈りをさげ、梶の葉に和歌をしたためて、お祀りしていたそつです。

わつていつたのです。笹竹に短冊をつるして願い事をするようになったのは、江戸時代からだそうです。織姫や彦星に想いをはせ、短冊に願いを込めて、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

Digitized by srujanika@gmail.com

第9回「これから楽交フラワー・アレンジメント講座」

第9回「これから楽交フラワーアレンジメント講座」  
22日(土)弊社にて開催いたしました。今回の参加者は常  
じいちゃん、第1回以来の久しぶりに参加された方、今回  
参加された5名の女性で華やかな講座となりました。春ら  
花がてんこ盛り?で初参加の方々は「参加費が500円で良  
お菓子もお茶も付いていて、このお花の量でこの参加費と

いわねえ～！」と  
驚かれ「次回も参  
加するので案内を  
必ず下さいね！」

と皆様喜ばれておられました。初参加の皆様の作品も常連さんに負けず劣らず立派なフラワーアレンジメント作品でした。  
次回は6月24日(土)14時から弊社で開催いたしますので、お花の好きな方、興味のある方の参加をお待ちいたしております。



お迎えし、送り火でお送りする大切  
な仏教行事の一つです。また多くの  
親類縁者が顔を合わせ、大切な方々  
との「つながり」を再確認する機会  
であります。ご先祖様を迎える準備  
として、まずお仏壇の掃除をしま  
す。お仏壇はご本尊様とご先祖様を  
おまつりする大切な場所ですので、  
家族みんなで心をこめて清掃しま  
す。お仏壇とは別に盆棚(精霊棚)を  
まつる場合は、お位牌を盆棚(精霊  
棚)にお移しします。次に、お墓の清  
掃を行います。家族みんなでお墓に  
出かけ、草むしり、墓石の洗浄など

す、お墓にお参りし　お花やお線香を供え、ご先祖様をご案内する気持ちで提灯に明かり（迎え火）を灯し、火を盆棚のお灯明に移し、全員でお家路につきます。家に着いたら迎え参ります。迎え火・送り火には、火を焚くことで悪霊を追い払う意味もあるそうです。現代ではお墓が遠いため提灯に入れて迎え火を連れて来ることが難しい場合も多くなっています。そうした場合には、13日の夕方に、門口や玄関前などの危なくない場所で迎え火を焚きます。その際に、精霊馬があれば近くに置きます。初盆・新盆の場合には、靈が迷わずに戻って来られるようにと白提灯を灯す風習もあります。特にマンショーンなどの場合、迎え火を焚くのが難しいため、迎え火の代わりに白提灯を用いることも多いようです。これからお盆の期間中は、お団子やソウメンなどの変わり物と、「水の子」といわれる米と

生茄子、胡瓜などをサイの目に切つたものを、ハスの葉などに盛つて供えます。各地の町や村で行われる盆踊りでは、戻つてこられたご先祖さまと楽しく過ごすといった意味合があります。盆踊りで有名な岐阜県の「郡上踊り」や徳島県の「阿波踊り」も、本来はこういった意味合いで行われていました。16日は、お迎えしたご先祖様をお見送りする送り盆の日です。この日、全国各地では送り火の意味で灯篭流しなどが行われます。また京都の大文字（五山送り火）なども、有名な送り火の一つです。お盆はこの世に生きる私たちと、大切な亡き人との触れ合う大切な行事です。久しぶりに故郷に集まつた家族や親族と共に過ごす楽しい語らいの時間を、生死を越えた「つながり」の尊さを再確認しながら、大切に過ごしたいものです。

文·本山

明日も元気に  
～疲労回復～

トマトは疲労物質を分解してくれる優れもの。年々トマトの効能が見直されてい、コピソが流行した年もありました。リコピンは、ビタミン A.C.E とクエン酸を多く含むので、乳酸をおさえてくれる働きがあるので、病気や老化の原因である「活性酸素」を取り除いてくれます。活性酸素は体の疲れやストレスが原因で生み出されるもので、それを除去してくれるトマトは、とても優秀な疲労回復効果のある食べ物です。



## 旬の食彩 ~ラッキョウ~

今回はラッキョウについてです。ラッキョウにはアリシンという物質が含まれています。疲労回復、滋養強壮、免疫力を高め、がんの予防にも効果があると言われています。また、血行促進により、冷え性や動脈硬化、血栓の予防にも効果的とされています。ラッキョウのにおいが苦手な人もいると思いますが、においの元のアリシンは人間の体に対していい働きをします。

